



福岡市の強み 優れたアクセスと経済成長

福岡リート投資法人
執行役員 茶木正安



福岡市長
吉田 宏

ある穏やかな初冬の朝、福岡市にて、茶木正安・福岡リート投資法人執行役員と吉田宏・福岡市長とが福岡市の魅力について対談を行いました。

茶木: 私は福岡リート投資法人の運営を任せ、福岡に着任してから福岡市に強く惹かれるようになりました。吉田市長は、福岡の強みは何だとお考えですか。

市長: 福岡は東京と同様に、あらゆる機能を備えた大都市です。空港へのアクセスの

良さは、おそらく世界一ではないでしょうか。福岡市の二大中心地の一つである博多から福岡国際空港まで、地下鉄で2駅、タクシーでわずか10分ですからね。これほど至近にあるため、市民も来訪客も、福岡市の政治、経済、教育の拠点に手軽にアクセスすることができるわけです。

茶木: それと、福岡都市圏の人口は現在約250万人ですが、何と今も拡大を続けているのですね。優れた教育機関が集中していることもその一因でしょう。

市長: 福岡には国内トップクラスの九州大学や福岡大学など21の大学があり、中国をはじめアジア諸国からの交換留学生も増加していますよ。

茶木: 人気ゲーム「レイトン教授」シリーズを作り出した「レベルファイブ」は福岡の企業ですが、東京出身の私から見ると、同社の成功はまさに福岡の強みを体現しているものだと思います。レベルファイブは社員15人からスタートし、ほんの数年で200人に拡大しました。同社の経営幹部によると、福岡は理想的な街であり、それはスタッフが高いクオリティオブライフ（QOL）を享受できるからだということです。生活費は東京に比べ30%ほど安く、福岡にないものはありませんね。

市長: 福岡はIT、デザイン、クリエイティブ産業やエンターテインメント産業を積極的に後押ししています。福岡は、有名な「博多座」がありますが、国内トップクラスのミュージシャンやエンターテイナーを多数輩出しています。九州大学を含め福岡の3つの大学にデザイン学部が設置されており、もちろんエンターテインメント系の専門学校もあります。レベルファイブの成功



は確かに目覚ましいものですが、これにとどまらず、福岡は何十年にもわたって「コンテンツ」分野を先導しているのです。

それから、福岡空港は中国やアジアの主要都市16カ所と路線で結ばれており、上海まではわずか90分です。韓国の釜山にはフェリーで3時間足らずで行けます。このメリットを捉えてアジア資本が福岡に向かっており、既にシンガポール企業数社が巨額の投資を行いました。

茶木: 国際的なアクセスの良さは重要ですね。中国人の来訪は、福岡に大きな経済効果をもたらしています。中国人が福岡に投資するのは、地理的な近さ、福岡市のコンパクトさ、そして政治経済の安定性が大きな要因となっていることは明らかです。とはいえ、九州自体が台湾を上回る経済規模を誇り、また2011年に九州新幹線が開通することで、九州全域からさらに多くの企業や観光客が福岡にやってくると予想されますが、これも見落とせませんね。

市長: 現在、福岡市では地下鉄七隈線の延伸も計画しています。これにより大量交通網がさらに整備され、住民のアクセスが向上することが期待されます。さらに、福岡のもう一つの中心地である天神では、容積率の規制緩和をきっかけに、所有物件の建替を検討しているオーナーも多数います。市の中心部に対して、再びエネルギーと情熱を傾けているわけですが、そこには多文化的要素もいくらか入ってくるでしょう。

茶木: 福岡市は釜山市と積極的な交流を図り、関係を深めていますね。

市長: 釜山市との積極的な取り組みの中でも、特に注目されるものの一つがスポーツ

です。ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)でも韓国と日本は際立っていましたが、昨年、福岡市と釜山のマイナーリーグの野球チームが接戦を演じました。これがきっかけとなり、福岡ソフトバンクホークスと韓国プロ野球チームの釜山ロッテジャ

イアンツとの交流試合が計画される運びとなりました。

このほかにも多数の共同プロジェクトの実現が見込まれており、福岡と釜山が一体となって、独自の素晴らしい国際的ゲートウェイが形成されるものと考えています。

